

〔畜産農家の声〕

フォーベルネット会員

岡山市北区下足守 安富 三代さん
(備前県民局 畜産班)

○はじめに

足守は岡山市中心部から北西に約10km、足守川沿いに開けた山あいの町であり、古来は蘭学者の緒方洪庵や歌人の木下利玄などを輩出しています。

また、岡山県の名産である白桃、マスカット、メロンなどが有名です。

今回は足守で酪農並びに小さな酪農家のまじめなアイス「ファミリー」を営む安富牧場の安富三代さんに、フォーベルネット会員の結びの原稿を書きましたので、ご紹介します。

○畜産の危機

酪農家に嫁いで37年の年月を数えました。

今年の経営はどうなるだろう、気温がいつもの年程上がらず、雨が多いように感じられ、お客様がお店（ファミリー）に足を運んでくださるだろうか、などと思いながら、朝の搾乳に入ったある日、宮崎県で口蹄疫発生のFAXが流れたが、よそ事のような感じでした。

しかし、毎日毎日次々に新たな発生、同居の牛が、豚が100頭、1,000頭殺処分、これは大変な事になった。ネットワークの友人の顔が浮かび、胸が締め付けられる思いがしました。

しかし、とても様子を聞く勇気もなく、何日か過ぎて行き、一向に終息する様子もない状況に、意を決して福岡の友人に電話をかけました。

お互いに「もしもし」と言った後が声にならず、しばらくして涙声で様子を聞

くことができました。被害の甚大さに驚き、大変な惨事になっている。種牛はブランドの象徴、20万頭の子牛を世に送り出し悠々と余生を送っていた名牛が処分され、同じ畜産農家として何かしなくてはという思いに駆られました。

人に感染はしないとはいえ、このウイルスは農家にとって最悪の敵であろう。農家の落胆と悲しみ、将来の畜産を思えば対策の遅れは許されません。

○農業の六次産業化



20種類以上のジェラートアイス

アイスクリーム工房を立ち上げ、早12年になります。従業員パートさんの力を借り法人化も出来、今では会社理念に地域・信頼・思いやりを掲げ経営の安定を目指しています。

それは商品名「小さな酪農家のまじめなアイス」にあるように、真面目を一番に牛から頂いたお乳を使い、製品作りをするという企業理念であります。

アイスクリームの値段は決して安く

岡山畜産便り 2010.07

はありませんが、良質なものをきちんと作り、適正な価格で買っていただく、当たり前の商売をしています。

毎朝の朝礼を通じスタッフ全員が同じ思いで働ける環境作りをすることが私の仕事と思っています。



地元の桃とメロンを使用したアイス

○私のこだわり

さて我が家は四世代同居、乳牛をはじ

めほとんどがメス、オスは夫と息子だけで、それはそれはとてもにぎやかな一家です。

私の今の生活は少しの牛舎作業、ほとんど孫のおもりの毎日。朝の搾乳作業が終わると6ヶ月の孫がやってくる、ベビーシッターの始まり、スリングに入れ、銀行に、郵便局に、スーパーに、そして大家族（8人）の食事担当として奮闘中です。

これから先は酪農作業に追われ、参加できなかったボランティア活動のお手伝いをし、そのあとで健康のためにも好きなゴルフを月三回ぐらい出来たらいいなと思っています。



おとうちゃん、うちのアイスは・・・
もちろん、うまいで～エ。